

めざせ！ 苗場山麓ジオパーク

Vol.
1

振興協議会だより

〔発行日〕平成25年12月11日

〔発行〕めざせ！苗場山麓ジオパーク推進準備室

振興協議会が発足しました！

12月3日、津南町・栄村の両町村から委員の皆様にご参集いただき、設立総会が開催されました。役員は次のとおりです。

会 長：上村憲司

副会長：島田茂樹

監 事：中山弘、福原和人

実績報告や来年度の事業計画・予算案、委員会内部の部会などについて審議されました。



上村会長のあいさつ

振興協議会の役割 ジオパーク島原宣言(2012)から

●東日本大震災とジオパーク

2011年3月11日、マグニチュード9.0の地震によって引き起こされた津波により、東北地方で甚大な災害がおきたことに鑑み、ジオの脅威によって起こされる災害を軽減するために、ジオパークの仲間は、この被災体験を、ジオの脅威がある地域に住んでいる人々に対する教育のひとつの手段として、有効に活用しなければならない。

●自然災害におけるジオパークの役割

地球は私たちに自然資源や美しく素晴らしい景観をもたらす。しかしながら、時には、地震、津波、火山噴火、地滑り、そして洪水のような大きな災害を引き起こすこともある。ジオパークにおいて私たちの生きている地球について教育することは、私たちの地域社会が、ジオの災害を時として起こす自然と如何に共存するかを理解するのに最も効果的である。

●ジオパークの遺産の保全と活用

私たちのジオパークの地質、自然、無形や有形の文化の遺産を管轄し保存するさまざまな組織と連携することによって、また、質の高い施設を設置し、質の高い教育プログラムを提供することによって、私たちは、世界ジオパークネットワークのブランドが高く評価され、より認知されるように継続的に努力する。

●ジオパークに関連する組織間の協力体制の確立

地域の人々、科学者、旅行業者、地方自治体、国家間の密接な協力は、ジオパークにおける、ジオ遺産の保全、教育、観光、管理に不可欠である。その結果、私たちのジオパークや私たちの地域社会が真に持続的に発展する。

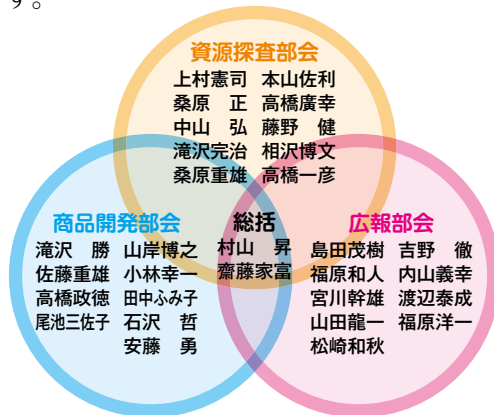


振興協議会の様子

部会が動きます！

振興協議会では、3つの部会をもうけ具体的な活動をしていきます。

各部会のメンバーは準備室で提案させていただきました。どの部会にも積極的に参加して言動いただければ幸いです。



資源探査部会

地域を探索し、ジオ・エコ・カルチャーの新しい資源の発掘をする部会

商品開発部会

観光商品の開発を行う部会。バックツアー・郷土料理・お土産品など

広報部会

情報発信。ジオパークをいかに柔らかに大衆に発信していくかが課題

基調講演「ジオパークの魅力と振興の力」 関塚英一氏

めざせ！苗場山麓ジオパーク推進準備室の関塚氏にジオパークについて講演いただきました。関塚氏は平成12～16年、津南町農と縄文の体験実習館なじょもんの開館に携わり、当時から、この地域の自然・雪国文化・縄文文化や秋山郷を中心とする民俗文化など、すべてが尊いものであり、町全体を一つの博物館としてとらえ保全・活用する「町まるごと博物館」計画を理解し協力してくれたメンバーの1人です。



関塚氏 講演の様子

●講演のポイント

ジオパークの活動：3つの要素

1. 保全 (conservation) …… 地域コミュニティによる Geo 遺産の保全
2. 教育 (education) …… Geo 遺産の教育活用
3. ジオツーリズム (geotourism) … ジオツーリズムの推進

地域経済の持続的な活性化 = ジオパークの認定は目的ではなく経過である

今後の計画とスケジュール

- 住民説明会……………来年1月から各集落で随時開催
- ジオパークガイド養成講座……………年明けの小正月以降
- 振興協議会委員糸魚川ジオパーク視察…来年1月後半
- 部会の活動開始

申請	来年4月
公開プレゼン	5月
現地審査	9月